

日本での就労から母国での活躍まで 外国人社員に寄り添う支援体制

建設業

株式会社 日塗建

設立年 2002年
従業員数 13名
事業内容 塗装工事業
所在地 三重県津市栄町一丁目906
HP <https://nittoken.jp/>



外国人材雇用を始めたきっかけ

人手不足が続く中、求人を行っても応募が集まりにくい状況がありました。人材不足への対応策の一つとして、2016年に初めてカンボジアから技能実習生3人を受入れたことが、外国人材雇用を始めたきっかけです。その後も、特にカンボジアの人材を受入れ続けており、現在では外国人社員からの紹介による採用も行っています。

採用のための取組

採用では、監理団体を通じた技能実習生の採用を基本としており、コロナ禍以降の選考ではオンライン面接も導入しています。直近の採用活動では、在籍している外国人社員にオンライン面接に同席してもらいました。弊社の外国人社員は寮で共同生活してもらっていることもあり、仕事だけでなく生活も共にする社員の目線から、協力し合える人材かを確認してもらいました。

先輩社員が選考に関わることで、面接をより効果的に実施できるだけでなく、先輩社員にとっても、採用後の指導に対する当事者意識が高まり、効果的な取組だと感じています。

課題

技能実習制度の趣旨である、技能の習得と母国への還元を実現するためには、人材育成や教育、管理体制を継続的に整備する必要があり、企業としての組織力向上が求められていると感じています。

外国人社員と働く中では言葉や文化、風習の違いを感じることもありますが、日本人社員と外国人社員が互いに理解を深め、助け合いながら共に働ける職場環境づくりを進めることが重要だと考えています。

外国人材 採用経路

監理団体

- 外国人従業員数 4名
- 国 籍 カンボジア王国4名
- 在 留 資 格 技能実習2名、
特定技能2名
- 業 務 内 容 塗装工



代表取締役

外国人材の定着・活躍のための取組状況

01 技能と日本語能力を磨き、将来の可能性をサポート

日本語能力は業務の理解や現場での安全に直結するだけでなく、普段の生活にも関わるため、業務中は日本語を使うことを基本とし、日常的な会話を通じて日本語の理解を深めてもらっています。業務内容の理解が難しい場合には翻訳機を活用する等、作業内容や注意点を確実に伝えることで、確実に品質を担保しながら、安全に作業が進められるよう配慮しています。

また、技能検定の受験にあたって、日本人社員が実技指導を行うほか、筆記試験対策のため、日本語の指導も行っています。日本語能力試験（JLPT）の受験も支援しており、技能を磨くだけでなく、高い日本語能力を身に着けることで、母国へ帰国した後の可能性を広げてほしいと考えています。

02 習熟度に応じた業務のステップアップで成長を後押し

現場では、まずは補助的な作業から担当してもらい、業務の理解が進んで、技能がより高度になれば作業の幅を広げる等、外国人社員一人ひとりの習熟度を確認しながら段階的に仕事を任せています。

新しい作業に挑戦する際には、先輩社員が声をかけながらフォローし、現場での経験を重ねてもらうことで、仕事に対するやりがいを感じてもらい、着実なスキルアップにつなげています。

03 母国への家庭訪問で、ご家族からの信頼と応援を獲得

外国人社員が安心して日本で働き続けられるように、日本での生活環境や労働環境、心身の状態にも目を向けたフォローを行っています。

その中で、母国のご家族が日本での働き方や生活状況を理解し、安心して送り出してくれるよう、様々な機会をとらえて外国人社員の母国へ渡航し、家庭訪問の機会を設けています。日本での就労状況や生活について、ご家族に直接伝える機会があることで、ご家族は安心して日本での仕事を応援してくれるようになり、社員もそのエールを受けて、より一層意欲的に仕事に励んでくれていると感じています。

04 社内・地域での交流を通じた日本語能力の育成

弊社では、地域活動として盆踊り大会やごみ拾い活動等にも参加しており、外国人社員にも様々な活動に参加してもらっています。普段の業務や検定試験対策で磨いた日本語能力が、地域の方々とコミュニケーションにも活かされていると感じており、日本での生活や地域コミュニティへの参加につながっていると思います。

また、社内においても食事会やお花見等、会社主催の交流機会を設けており、立場や国籍の壁がない交流の機会が生まれることで、職場内の異文化理解や社員同士の関係性構築につながっています。



外国人社員の声



カンボジア王国出身

塗装工として活躍する外国人社員

勤続年数	3年半
日本在住年数	3年半
業務内容	塗装工
在留資格	特定技能1号

家族を支える思いを胸に、 塗装工として技術を磨く

日本で働きたいと思った理由は、母国にいる家族を支え、自分の将来のためにお金を貯めたいと考えたからです。親族が日本で働いており、給料が安定していることや、町がきれいで、ルールが守られている安全な国だと聞いたことで、日本で働くことに魅力を感じるようになりました。

現在は塗装工として現場で作業していますが、仕事を始めた当初は、初めて経験する仕事ばかりで、大変だと感じることもありましたが、少しずつできることが増え、現在では仕事のやりがいと自分の成長を実感しています。現場では先輩社員が丁寧に教えてくれるため、安心して業務に取り組むことができ、これからも塗装の技術を磨き、将来は母国で自分の会社を立ち上げたいと考えています。